

仙台市根白石地区では4月から12月の間、毎月第3土曜日に「根白石おもしろ市」を開催している。この行事を盛り上げるべく、同地区の農業委員と農地利用最適化推進委員が協力し、今年度から市と連携した活動を始めた。

出店数は約50店舗でコメや野菜といった農産物のほか、花木や海産物、加工品、雑貨など多様な商品が販売されている。その中でも地場産農産物の売れ行きが好調だ。

一方で、この地域は中山間部で未整備の農地が多く、イノシシ等の鳥獣被害も発生していることから、担い手不足が課題となっている。この課題を解決すべく、第一に新規就農者に対して市への出店促進。第二に出店している農業者を対象に農地に関する相談への対応を行っている。

活動に参加する熊谷幸夫農業委員は「根白石地区は新規就農者が少ないが、市を活用した販路拡大など、儲かる農業への一翼を担い、新規就農の促進に力を入れていきたい」と話す。

### 参加した委員のみなさん



### 買い物客でにぎわうおもしろ市



【記事提供】仙台市農業委員会